

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 8 月 19 日  
東京電力株式会社

## < 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/19 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h	29.7	3.9 kPa g	A系： 0.01 vol%
		給水系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.01 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.5 m <sup>3</sup> /h	37.8	7.10 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.04 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m <sup>3</sup> /h	36.1	0.23 kPa g	A系： 0.06 Vol%
		給水系：約 1.9 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 Vol%

## < 2. 使用済燃料プールの状況 > (8/19 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	28.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	27.7 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	27.2 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	25.6 °C

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

・H26/8/19 5号機残留熱除去系原子炉停止時冷却モード(A系)については、パワーセンター(※1)の点検に伴う、残留熱除去系モーターコントロールセンター(※2)の仮設電源切替作業を行うため、9:39 に停止。作業が終了したことから、同日 12:04 に5号機残留熱除去系原子炉停止時冷却モード(A系)を起動。なお、運転状態については異常なし。また、原子炉水温度は原子炉停止時冷却系停止時の 33.5°C から 34.1°C まで上昇したが、運転上の制限値 100°C に対して余裕があり、原子炉水温度の管理上問題ない。

※1 パワーセンター：所内低電圧回路に使用する動力用電源盤

※2 モーターコントロールセンター：小容量の所内低電圧回路に使用する動力用電源盤

## < 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	8/15 10:00 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	8/14 10:30 ~ 8/18 19:03 移送実施

## < 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (8/19 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中*1	運転中*1	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <5. その他>

- H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
  - 4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
  - 4/28～ 4/26に全17本の凍結管の挿入作業、そのうち13本のパッカー設置作業が終了したことから、凍結管全17本の凍結運転を開始。今後、凍結の壁を造成していく予定であり、凍結状況については、測温管にて確認していく。
  - 7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。
    - 8/12～ ドライアイスを追加で投入開始。
- H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
- H26/6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
- H26/8/12 9:50 サブドレン他水処理施設の設置が一部完了し、本設備において放射性核種の除去能力(トリチウムを除く)を確認する浄化性能確認試験を行うため、サブドレンピットから集水タンクへ地下水の汲み上げを開始していたが、8/16 7:30 地下水の汲み上げ量が予定していた500トンに達したことから、汲み上げを停止。

### 【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- H26/8/19 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 8/6]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、10:03 から海洋への排水を開始。同日 10:15 に漏えい等の異常がないことを確認。同日 15:12 排水を終了。排水終了後に漏えい等の異常がないことを確認。排水量は 1,253 トン。

### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

#### <H4エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

#### <H6エリア周辺のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

#### <地下水観測孔サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

#### <地下貯水槽サンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上